

# 環境経営活動レポート

## エコアクション21



福岡国際空港

令和5年7月～令和6年6月

令和6年7月31日 作成

# 木村土建株式会社

# 環境経営方針

我々は、環境問題の重要性を自覚し、  
環境へ影響を及ぼす活動において、環境との調和を図り、  
地球環境の保全と地域社会への貢献を目指して、行動する

1. 事業活動に伴う環境への負担を削減する為、環境方針に従って、以下の事項に継続的に取り組みます。
  - 1) 車両・重機のエコ運転に努め、二酸化炭素を削減する
  - 2) 電灯・エアコンなどの適正使用により、電気・ガスの使用を抑え、二酸化炭素を削減する
  - 3) 建設副産物リサイクル率100%を目指し、産業廃棄物の最終処分量を削減する
  - 4) 建設備品・事務用品はできるだけ再使用し、一般廃棄物を削減する
  - 5) 建設材料には、再生材を積極的に使用する
  - 6) 事務用品のグリーン購入に努める
  - 7) 蛇口をこまめに締め、水使用量を削減する
  - 7) 現場で化学物質との係りが発生した場合は法に従って適正に管理します
2. 関係する環境関連法規を遵守します。

制定日 平成22年9月1日

改定日 令和元年7月1日



木村土建株式会社  
代表取締役 木村 寿子

# 環境経営計画



## 二酸化炭素の削減

電力削減	1. 不在時・休憩時の消灯	(現場・本社)
	2. 不使用時のパソコンOFF	(現場・本社)
	3. エアコンの適正使用(使用台数限定/フィルター清掃 他)	(現場・本社)
	4. コピー機の予熱機能・リセットボタンの活用	(本社)
燃料削減	1. 車両・建設機械の適正整備(タイヤ空気圧チェック 他)	(現場)
	2. 輸送方法の工夫(相乗り/最短ルートの検討 他)	(現場)
	3. アイドリングストップ	(現場)
	4. 車両・建設機械への不用物積載禁止	(現場)

## 廃棄物の削減

一般廃棄物	1. 印刷ミスの削減(印刷プレビューチェック/コピー機設定リセット)	(現場・本社)
	2. 両面印刷・裏紙使用・古封筒使用の徹底	(現場・本社)
	3. OA機器・文房具の長期利用	(現場・本社)
	4. ゴミ分別の徹底(紙はリサイクル業者へ)	(現場・本社)
産業廃棄物	1. 資材の整理整頓・再利用	(現場)
	2. 残余資材・残余材料の発生防止	(現場)
	3. 産業廃棄物の適正処分(分別徹底/契約/マニフェスト)	(現場)

## 水使用量の削減

節水	1. 水道の適正使用(蛇口はこまめにしめる)	(現場・本社)
----	------------------------	---------

## グリーン購入

環境に配慮した製品	1. 再生材の積極的な使用	(現場)
	2. グリーン製品の購入	(本社)

## 組織の概要

(1) 名称および代表者名

木村土建株式会社  
代表取締役 木村 寿子

(2) 創業 昭和42年12月1日

(3) 所在地 本社 福岡県福岡市博多区大井1丁目6番3号  
志免営業所 福岡県糟屋郡志免町南里4丁目15-6

(4) 事業内容 福岡県知事許可 特-3 第61298号  
土木工事業 とび・土工工事業 石工事業  
舗装工事業 水道施設工事業 解体工事業

(5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 木村 寿子 092-621-6358  
担当者 後藤 香代子 092-621-6358

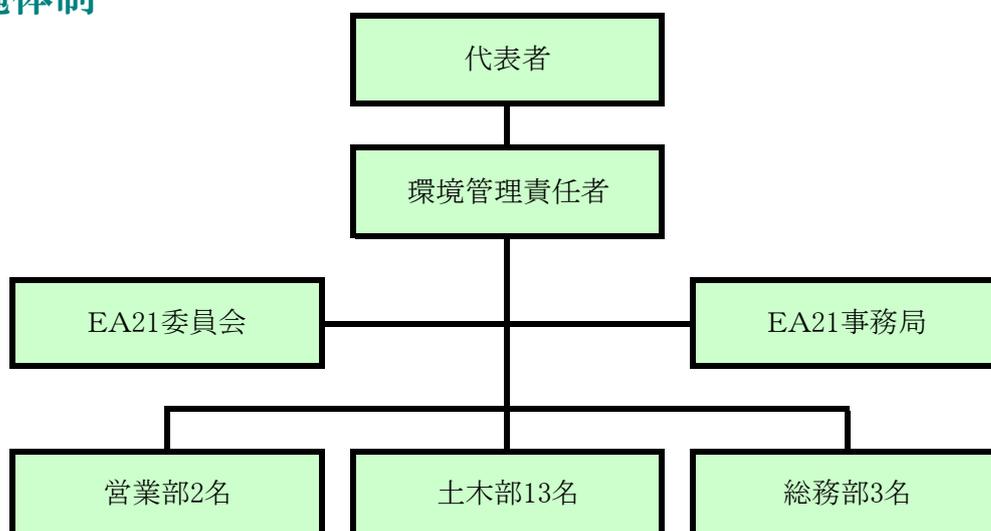
(6) 事業の規模 ※ 事業年度 7月～6月

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
従業員	20人	19人	18人
延べ床面積	本社 192 m <sup>2</sup> 志免営業所 78 m <sup>2</sup>	本社 192 m <sup>2</sup> 志免営業所 78 m <sup>2</sup>	本社 192 m <sup>2</sup> 志免営業所 78 m <sup>2</sup>

## 対象範囲

登録組織名 木村土建株式会社  
認証・登録の範囲 全社・全組織・全活動を対象範囲とします

## 実施体制



# 環境経営目標と実績

## 現場 環境目標

	基準値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素 排出量の 削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	497,174	目標値	(9%減) 452,428	(9%減) 452,428	(9%減) 452,428	(9%減) 452,428
		到達値	106,134	197,827	54,156	50,123
産業廃棄物 排出量の 削減 (t)	2,084	目標値	(9%減) 1,896	(9%減) 1,896	(9%減) 1,896	(9%減) 1,896
		到達値	2,402	2,259	740	671
		リサイクル率100%	達成	達成	達成	達成
水使用量の 削減 (m <sup>3</sup> )	463	目標値	(9%減) 421	(9%減) 421	(9%減) 421	(9%減) 421
		到達値	192	113	124	113
再生材の使用 (%)	50	目標値	(12%増) 56以上	(12%増) 56以上	(12%増) 56以上	(12%増) 56以上
		到達値	43	44	14	46

## 本社 環境目標

	基準値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素 排出量の 削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	15,301	目標値	(9%減) 13,924	(9%減) 13,924	(9%減) 13,924	(9%減) 13,924
		到達値	12,477	11,191	10,301	10,766
一般廃棄物 排出量の 削減 (kg)	195	目標値	(9%減) 177	(9%減) 177	(9%減) 177	(9%減) 177
		到達値	102	103	102	99
		リサイクル率100%	達成	達成	達成	達成
水使用量の 削減 (m <sup>3</sup> )	186	目標値	(9%減) 169	(9%減) 169	(9%減) 169	(9%減) 169
		到達値	64	57	60	58
グリーン製品 の購入 (品数)	1	目標値	(10品増) 11	(10品増) 11	(10品増) 11	(10品増) 11
		到達値	22	29	25	12

※基準値は、平成20・21年の値

※平成27年度までの電力の二酸化炭素排出係数は九州電力㈱の平成20年度実排出係数の「0.374kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を用いて計算しています。平成29年度以降については平成26年度調整後排出係数の「0.598kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を用いて計算しています。

※有害化学物質の取扱はありません。

※リサイクル率には熱回収を含みます。

## 環境活動の取組結果の評価

### 1) 二酸化炭素排出量の削減

- ・現場・本社ともに運用を開始してからこれまでで、最も削減することができた。
- ・社内の安全大会で行った指導内容に従い、エコドライブに努めた。
- ・車両及び重機の定期的な点検やオイル等の交換を行い、燃費の向上に努めた。
- ・オフセットCO<sub>2</sub>量が明記(カーボンオフセット証明書添付)されたリサイクルトナーを使用した。

### 2) 産業廃棄物排出量の削減

- ・産業廃棄物処理の手順を守り、マニフェストによる管理を行った。

- ・ 分別収集し、再資源化に努めた。
- 3) 一般廃棄物排出量の削減
- ・ 工事竣工時及び年度切替時は処分する書類が多いため、目標を達成しない月があったが、年度全体では目標を達成することができた。
  - ・ 処分した書類等はすべてリサイクル業者へ引き渡したため、リサイクル率100%は達成できた。
- 4) 水使用量の削減
- ・ 目標は達成しているが、使用量が増加しているため、より節水に努めたい。
- 5) 再生材の使用
- ・ 受注工事の内容により非再生材である生コンクリートの使用量が多く、目標を達成できなかった。月によっては再生材の使用が8割超えることもあったので、引き続き積極的な再生材の使用を行いたい。
- 6) グリーン製品の購入
- ・ 適合商品の増加により、通常製品からグリーン製品へ購入を変更できた。

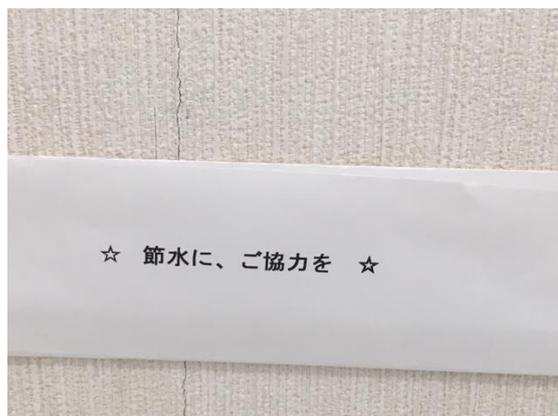


再生材の使用(現場)以外は達成できた

## 今後の取組

- 1) 二酸化炭素排出量の削減
- ・ 低振動・低騒音型建設機械の使用に努め、現場周辺への影響を軽減する。
  - ・ 車両及び重機の定期的な点検やオイル等の交換を行う。
  - ・ 工事規模に合わせた工事機械・工事用車両の適正配置を行う。
- 2) 産業廃棄物排出量の削減
- ・ 廃棄物処理の手順を守り、マニフェストによる管理を行う。
- 3) 一般廃棄物排出量の削減
- ・ 両面印刷・分割印刷及び裏紙利用に努め、紙使用を削減する。
  - ・ コピー機の設定リセットを意識してこまめに行い、ミスコピーを減らす。
  - ・ リサイクル率100%を継続する。
- 4) 水使用量の削減
- ・ 洗車の回数を調整し、節水に努める。
- 5) 再生材の使用
- ・ 受注工事によって再生材の割合には大幅にばらつきがあると思われるので、目標値は据置きとし、数値の把握は確実にを行う。
  - ・ 残余資材は他工事で再使用しているが、特殊な材料など再使用できないものもあるので、残余資材の発生を防止するために発注前の確認を徹底する。
- 6) グリーン製品の購入
- ・ グリーン適合商品を把握し、担当者が一括管理する。

## 環境経営計画に基づいて実施した取組内容



## 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

当社に關係する主な環境関連法規は廃棄物処理法、建設リサイクル法、騒音規制法、振動規制法、下水道法、フロン排出抑制法などです。当社に關係する環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。また、關係機関からの訴訟等もありませんでした。

## 次年度の環境経営目標

### 現場 環境目標

	基準年(平成20・21年度)		令和6年度	
	排出係数	0.374	排出係数	0.598
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準値	497,174	目標値	(9%減) <b>452,428</b>
産業廃棄物排出量の削減 (t)	基準値	2,084	目標値	(9%減) <b>1,896</b>
水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	基準値	463	目標値	(9%減) <b>421</b>
再生材の使用 (%)	基準値	50	目標値	(12%増) <b>56以上</b>

### 本社 環境目標

	基準年(平成20・21年度)		令和6年度	
	排出係数	0.374	排出係数	0.598
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	基準値	15,301	目標値	(9%減) <b>13,924</b>
一般廃棄物排出量の削減 (kg)	基準値	195	目標値	(9%減) <b>177</b>
水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	基準値	186	目標値	(9%減) <b>169</b>
グリーン製品の購入 (品数)	基準値	1	目標値	(10品増) <b>11</b>

## 次年度の環境経営計画

### 二酸化炭素の削減

電力削減	1. 不在時・休憩時の消灯	(現場・本社)
	2. 不使用時のパソコンOFF	(現場・本社)
	3. エアコンの適正使用(使用台数限定/フィルター清掃 他)	(現場・本社)
	4. コピー機の予熱機能・リセットボタンの活用	(本社)
燃料削減	1. 車両・建設機械の適正整備(タイヤ空気圧チェック 他)	(現場)
	2. 輸送方法の工夫(相乗り/最短ルートの検討 他)	(現場)
	3. アイドリングストップ	(現場)
	4. 車両・建設機械への不用物積載禁止	(現場)

### 廃棄物の削減

一般廃棄物	1. 印刷ミスの削減(印刷プレビューチェック/コピー機設定リセット)	(現場・本社)
	2. 両面印刷・裏紙使用・古封筒使用の徹底	(現場・本社)
	3. OA機器・文房具の長期利用	(現場・本社)
	4. ゴミ分別の徹底(紙はリサイクル業者へ)	(現場・本社)
産業廃棄物	1. 資材の整理整頓・再利用	(現場)
	2. 残余資材・残余材料の発生防止	(現場)
	3. 産業廃棄物の適正処分(分別徹底/契約/マニフェスト)	(現場)

### 水使用量の削減

節水	1. 水道の適正使用(蛇口はこまめにしめる)	(現場・本社)
----	------------------------	---------

### グリーン購入

環境に配慮した製品	1. 再生材の積極的な使用	(現場)
	2. グリーン製品の購入	(本社)

## 代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

記録その1	評価及び見直しに必要な情報(環境管理責任者)	記録日	R6年7月29日
-------	------------------------	-----	----------

	環境目標	環境目標の達成状況	環境活動計画の実施状況	コメント
環境目標・環境活動計画の達成状況	二酸化炭素排出量の削減	○	○	目標値内の実施で良
	廃棄物排出量の削減	○	○	目標値内の実施で良
	水使用量の削減	○	○	目標値内の実施で良
	化学物質使用量の削減	○	○	目標値内の実施で良
	グリーン購入の推進	○	○	目標値内の実施で良
	(製品及びサービスに関する環境配慮)	○	○	目標値内の実施で良
	環境関連法規等の遵守状況	法規違反はなく、今後も法令順守を心がけたい。		
外部からの環境に関する要望や苦情等	なし			
前回の指示事項とその取組結果	前回の指示事項：実行してはいるが、電力量の削減までには至っていないため、継続してクールビズ・ウォームビズに取り組む。また、冷暖房の設定温度を決める。 取組結果：こまめに冷暖房を消したり、扇風機を活用し省エネに取り組んだ結果、昨年度よりも電力を削減できた。今後も継続して電力削減に取り組む。			

記録その2	評価及び変更の必要性と指示(社長)	記録日	R6年7月29日
-------	-------------------	-----	----------

環境経営システムが有効に機能しているか	機能している。
環境への取組は適切に実施されているか	実施されている。
環境方針 変更の必要性(○有●無)	[変更の必要性がある場合は有に●を付けて、その指示事項を記載する]
環境目標・環境活動計画 変更の必要性(○有●無)	[変更の必要性がある場合は有に●を付けて、その指示事項を記載する]
その他の環境経営システムの要素 変更の必要性(○有●無)	[変更の必要性がある要素に●を付けて、その指示事項を記載する]
○環境負荷、取組の自己チェック ○環境関連法規等の取りまとめ ○実施体制の構築 ○教育訓練の実施 ○環境コミュニケーションの実施 ○実施及び運用 ○環境上の緊急事態への準備及び対応 ○環境関連文書及び記録の作成・管理 ○取組状況の確認並びに問題の是正及び予防	